

## 第65回「社会を明るくする運動」

### 西伯郡研究大会

7月7日(火)に保健福祉センターなわで、第65回「社会を明るくする運動」西伯郡研究大会が開催され、西伯郡内の各町村から約150人が参加しました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない社会を築こうとす

る全国的な運動です。

大会では、全国児童養護施設協議会会長でもあり、鳥取こども学園常務理事・園長の藤野興一さんによる講演や、西伯更生保護女性会の合唱、名和小学校4年生による名和つ子ソーラン2015の演技などがあり、地域の皆で力を合わせ、明るい社会づくりに向けて理解を深めました。

## 平和への誓いと 鎮魂の祈りを込めて

～大山口列車空襲から70年～

県内最大の戦災に見舞われた昭和20年の大山口列車空襲の犠牲者を追悼する慰霊祭と平和祈念の集い(大山口列車空襲被災者の会:金田吉人会長)が、7月28日(火)に大山公民館で行われました。

遺族や被災者、大山中学校、大山、大山西、名和、中山の各小学校の児童生徒、関係者など180人が参列し、犠牲者に祈りを捧げました。

参列した小中学生らは平和学習で学んだことを発表し、「悲惨な歴史は繰り返さない」と祭壇に手を合わせて平和を誓いました。



▶中学生による平和のメッセージ発表



▶子どもたちが躍動感ある演技を披露。大会に華を添えました。

## みんなで海岸をきれいに

### 海岸清掃に汗

町では、ごみのポイ捨て・不法投棄防止に対する意識啓発を図り、海岸の環境保全と良好な景観を守るため、毎年海の日(7月16日)に海岸清掃を実施しています。16回目となった今年の海岸清掃は7月20日(月)に平田・末吉海岸で行われました。

子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の参加者が集まったほか、まちづくり所子地区会議からも参加して、末吉海岸での清掃ボランティアは200人を超えました。



▶約1.3トンの「ゴミ」が回収されました

台風11号で中止の心配もありましたが当日は天気がよく、「可燃ごみ」「不燃ごみ」「発泡スチロール」など分別を行いました。作業開始前には白い発泡スチロールが目立つっていた海岸が、作業終了後には見違えるほどきれいになりました。

参加者からは「参加者が多くにぎやかだった」「暑くて大変だったが、海岸がきれいになってよかった」などの声が聞かれました。

昨年(2016年)に続き、まちづくり所子地区会議が準備した「子ども軍手」は今年も好評で、子どもたちも軍手をはめ、熱心にごみを拾いました。町では今後まちづくり所子地区会議と協力して、海の日海岸清掃を実施する予定です。